

2021年1月4日
SOTG 委員会通知 2021-01号

「WFDF アルティメット公式ルール」の改正について

2020年12月24日に2017年度発行の公式ルール及びその付帯資料（「WFDF Rules of Ultimate 2017（日本語訳：2017年発行 WFDF アルティメット公式ルール）」及び「WFDF Rules of Ultimate 2017 – Appendix（日本語訳：2017年発行 WFDF アルティメット公式ルール付帯資料）」）の改正が行われ、新たに「WFDF Rules of Ultimate 2021-2024」及び「WFDF Rules of Ultimate 2021-2024 – Appendix」が発行されたことをお知らせいたします。

今回の改正の目的として、①より良い試合進行を実現すること、②より公平な結果を導くこと、③USA Ultimate（USAU）と緊密に整合を図ること、④セルフジャッジが可能な限り効果的に機能するようにすること、の4点が挙げられています。また、改正の概要につきましては、本通知の別紙をご参照ください。なお、具体的な改正内容につきましては、公式ルール本編をご参照ください。

当該資料の日本語訳につきましては、翻訳が完了した後、本協会ホームページ「フライングディスク競技 公式ルール」(<https://www.jfda.or.jp/introduction/officialrules/>)にて公表いたします。

以上

表 1 「WFDF Rules of Ultimate 2021-2024」の主要な改正点

改正の概要	改正箇所	改正理由
キャプテンが故意または重大な規則違反に対処できるように、特定の規則を追加した。	1.2.1	セルフジャッジを容易にするため ／より公平な結果を導くため
「オフサイド・バイオレーション」が発生した後の罰則や対処方法を変更した。	7.5	より公平な結果を導くため ／USAU との整合を図るため
「偶発的な接触 (incidental contact)」という表記を「軽微な接触 (minor contact)」へ変更した。	15.1 及び定義	ルールをより明確にするため
オフェンス側の選手であれば誰でも「ダブルチーム」をコールできることとした。	15.5.1	より公平な結果を導くため
ディスクの所有権が決定するまでプレイを継続する際の条件及びプレイを継続させる方法を変更した。	16.2	セルフジャッジを容易にするため ／より公平な結果を導くため
プレイに影響がなかった場合のプレイ継続に関するルールの適用対象をすべてのコールへ拡張した。	16.3	セルフジャッジを容易にするため ／より公平な結果を導くため
レシーブ時のファール及びファールの相殺について、ディスクがキャッチされた後の接触は「ファール」の根拠とならないこととした。	17.2.1, 17.9.1	実際のプレイ状況との整合を図るため ／USAU との整合を図るため
「ストラドル」と「ラッピング」の適用条件に「マーカーがスローワーのピボット / 胴体からディスク 1 枚分以内の距離に近づいた時」を追加した。	18.1.1.2, 18.1.1.4	USAU との整合を図るため
走ったりジャンプしたりしながらディスクをキャッチした際には、減速しなくてもパスが出せることとした。	18.2.2	USAU との整合を図るため

※：「改正箇所」は改正後の公式ルールにおける章番号

表 2 「WFDF Rules of Ultimate 2021-2024 - Appendix」の軽微な改正点

改正の概要	改正箇所	改正理由
スピリット・オブ・ザ・ゲームの考え方に相応しい行動と相応しくない行動の例を追加した。	1.3~1.7	セルフジャッジを容易にするため
インバウンズでのインターセプション発生後、スローワーのピボットが確定するまでストールカウントを開始できないこととした。	9.3.1	USAU との整合を図るため
「コンテストとならなかった (uncontested) 場合」という表記を「受け入れられた (accepted) 場合」へ変更した。	9.5	セルフジャッジを容易にするため
ストールカウントに関するコールを含む複数のコールへの対処方法を詳述にした。	9.5.4.1, 15.12	セルフジャッジを容易にするため
適切なチェックが行われずにプレイが再開された場合に「バイオレーション」をコールできることとした。	10.7	セルフジャッジを容易にするため
「キャッチ」と「ディスクの所有」の定義を分割し、それぞれ定義を明記した。	12.1 及び定義	ルールをより明確にするため ／実際のプレイとの整合を図るため
選手のポジショニングとイニシエイト・コンタクトに関する記述を追加した。	12.5 ~12.7	ルールをより明確にするため

改正の概要	改正箇所	改正理由
「ストール・アウト」のコールへの対処方法を詳述した。	13.4	ルールをより明確にするため
選手が故意に軽度の接触を行った場合の反則を、「ファール」から「バイオレーション」へ変更した。	15.1.1	ルールをより明確にするため
「プレイオン」のコールについて、プレイを継続させる場合に必ずコールしなければならないこととした。	16.2.4.1	USAU との整合を図るため
「ストリップ・ファール」の発生条件を明記した。	17.3	ルールをより明確にするため／実際のプレイとの整合を図るため
所有権を確定させる途中で身体接触が起こった場合、必ずしも空中で接触していなくても「フォースアウト・ファール」に該当することとした。	17.5	より公平な結果を導くため
マーカー・インフラクションをコールしながらパスが通った場合、コールされたインフラクションは「バイオレーション」とみなされ、ディスクはスローワーへ戻されることとした。	18.1.2.1	USAU との整合を図るため
スローワーが所定の位置にピボットを確定しなければならない場合、スロー動作に入る前にピボットを確定する必要があることを明記した。	18.2.5.3	ルールをより明確にするため／より公平な結果を導くため
「トラベル」の発生後、スローワーがディスクを持っている場合には、マーカーは「ストーリング」と言う必要がないこととした。	18.2.6.3	USAU との整合を図るため
選手が裂傷や流血を伴う怪我を負った場合、「テクニカル・ストップ」をコールできることとした。	19.2.1	選手の安全を確保するため／USAU との整合を図るため
選手、コーチ、大会スタッフは、選手に危険が及ぶような事態が発生した場合に、選手に対して注意を促すことができることとした。	19.2.1.1	選手の安全を確保するため
「ピボット」と「ピボットの位置」の定義について、表現を変更した。	定義	ルールをより明確にするため

※：「改正箇所」は改正後の公式ルールにおける章番号